

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2005-187073 (P2005-187073A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-027
 【出願番号】特願 2004-352290 (P2004-352290)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 63/08 (2006.01)

F 1 6 B 2/08 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 63/08

F 1 6 B 2/08 Q

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 7 日 (2007.11.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 4】

続いて、図 9 ~ 図 13 に示したように、第 2 環状部 44 から突出したストラップの先端部分 16 を、結束工具 100 に挿入する。この結束工具 100 は、例えば、本願の基礎米国出願と共に本願の出願人に対して譲渡された 2004 年 11 月 29 日付本願の米国特許出願第 10 / 998 , 459 号 (出願代理人の整理番号 LCB445) に開示されている結束工具などである。尚、同米国特許出願の開示内容は、この言及をもってその全体が本願開示に包含されたものとする。その種の結束工具 100 を用いて、ストラップ 12 を第 2 ブリッジ部 30 で折り返すように折り曲げ、更に、そのストラップ 12 に引張力を付与し、しかる後に、第 1 ブリッジ部 20 より手前の所定の位置で、そのストラップ 12 の余分な部分を切断除去する。また、その際に、ストラップ 12 に引張力を付与したならば、ストラップ 12 を上方へ折り曲げた上で、切断するようにする。続いて、切断したことによって形成されたそのストラップの先端部 16 を、第 1 ブリッジ部と第 2 ブリッジ部との間に画成されている係止窓部 46 の中へ倒し込み、そのストラップの先端部 16 の位置が、押え突起 26 の位置より低くなるようにする。これによって、板状係止突片 22 を押し倒すように折り曲げることができるようになる。続いて、図 14 に示したような工具 200 を用いて、板状係止突片 22 を折り曲げて、その板状係止突片 22 でストラップの先端部 16 を押さえ付け、ストラップの先端部 16 を固定する。